

White Out / Clear View

水性の液体を原液のままスプレーガンで塗布し、乾燥後にフィルムに変わり、汚れたら剥がすだけ。

マスキングフィルムで養生した壁は綺麗に保てているようですが、フィルムの寿命は短く、交換サイクルが早く無駄な作業時間が必要になります。さらに静電気や破れた隙間にゴミが多く潜むため、塗装作業時には室内にまき散らしているのが現状です。

ホワイトアウトを使えば、あなたの塗装ブースはいつだって買ったばかりの状態に戻せます。また、買ったばかりの塗装ブースに施工すれば常に白く輝くパネルをキープできます。マスキングフィルムでマスキングした時のような静電気もバタつきによる不快な音もありません。さらに照明等のガラス部にはクリヤービューを使えば照度をほとんど落す事なく保護できます。ホワイトアウト・クリヤービューは簡単に剥がす事ができるので濡れタオルで1日かけて拭き取る事も、高圧洗浄機を使用して塗装ブースを痛める心配もありません。



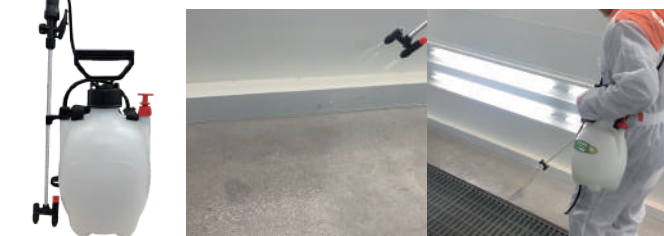
Particle Control

水性の液体を原液のまま蓄圧噴霧器で塗装ブース床のコンクリ面に散布するだけで、塗装ブース内の浮遊ゴミを軽減する。

塗装面へのゴミ付着の原因の1つは、通常のコホリやミストの粒子が他の粒子を寄せ付けず細かい状態で空中に浮遊し続け、自動車や部品に吸い寄せられて付着してしまう事です。パーティクルコントロールを散布するとコホリやミストの電荷を中和し、粒子を互いに付着させる事で舞い上がりにくくします。さらにコホリやミストが塗装ブースの風により効果的に排出され、再び浮遊する事を阻止する事で車両にコホリやミストが車両に付着する事を防ぎます。

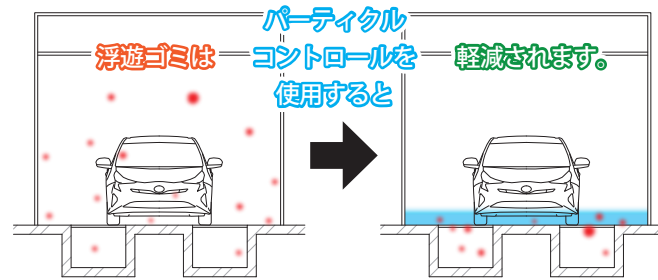
パーティクルコントロールを使用すると面倒な作業毎の水の散布は必要ありません。ゴミトラブルを軽減し、塗装品質の向上や作業時間の短縮をお約束します！

パーティクルコントロールの散布は市販の蓄圧噴霧器をご使用下さい。



Particle Control

磨き時間を減らして作業時間短縮ができる。



Curtain Guard

水性の液体を原液のままスプレーガンで塗布し、高価なビニールカーテンを保護する。

オープンブース等で使用されているビニールカーテンはオーバーミストで汚れてくると、採光が取れなくなり、ブース内が暗くなりがちです。カーテンガードは、そんなオーバーミストからカーテンを保護する事でいつまでも明るいブース内を保ち、高価なビニールカーテンの交換サイクルを長くします。カーテンガードの成分は乾燥すると非粘着性のフィルムになります。カーテンが折れたり、たたまれたり、広げられた時に剥がれたり、貼り付いたりしないように柔軟性を維持する事ができます。それは数ヶ月の間保護し、水で簡単に洗い流す事ができます。

注意 ※製品を取り扱う前に取扱説明書・SDSを良くお読の上で、正しくご使用下さい。

- 使用前に事前テストを必ず行うこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋内又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
- 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。
- 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- 施錠して保管すること。
- 内容物、容器、洗浄した廃液は条例に基づき適切な処理をおこなうこと。
- 使用期限がすぎた本製品は使用しないこと。

※製品の取扱説明書は大切に保管して下さい。 2020.04

NEXT
since 1989
BORN IN JAPAN

日本のBPをプロデュースする
ネキスト株式会社
〒497-0015 愛知県あま市七宝町鯉橋4丁目36
TEL: (052)559-2115 / FAX: (052)559-2116
拠点: 東京・千葉・福岡
NTCトレーニングセンター (本社併設)

塗装関連アイテム



BOOTH PACK Series

ISSUE #1

ネキスト株式会社

■ White Out



■ 塗装ブースの壁面保護剤

WO-3738 ホワイトアウト

内容量 : 1 ガロン (3.78ℓ)

カラー : 白色

対象範囲 : 1 ガロンあたり

約 16~18.5 m² (理論値)

成分 : 水性 (別途 SDS 参照)

耐久性 : 最大 500 回の運転 (乾燥)
または 6 ヶ月

使用期限 : ボトルに記載

労働安全衛生法による表示: 酸化チタン
第四類 引火性液体 第三石油類 水溶性液体

■ ホワイトアウトをご使用前に

- ・ 塗装ブース壁面 (鋼板) に施工できます。
- ・ 施工前に事前テストを必ず行って下さい。
- ・ 既に他のコーティング材が塗ってある場合は完全に落して下さい。
特にウレタン・ラテックス塗料の上には絶対に施工しないで下さい。

■ ホワイトアウト施工条件

低圧スプレーガン/重力供給カップ
ノズル径: 2.2~2.5mm
1.5mm 程度でも塗布可能だが、消費量・施工時間が多くかかります
エア一圧: 1.8~2.1kgf/cm² (0.18~0.21MPa) / 塗布面までの距離: 約 30cm
塗布気温: 約 25℃ / 塗装中は換気・保護具の着用を必ず行って下さい。

■ Clear View



■ 塗装ブースのガラス面保護剤

CV-3038 クリヤービュー

内容量 : 1 ガロン (3.78ℓ)

カラー : 透明 (乾燥前は白色)

対象範囲 : 1 ガロンあたり

約 37~46 m² (理論値)

成分 : 水性 (別途 SDS 参照)

耐久性 : 最大 500 回の運転 (乾燥)
または 6 ヶ月

使用期限 : ボトルに記載

労働安全衛生法による表示: 酢酸ビニル
第四類 引火性液体 第三石油類 水溶性液体

■ クリヤービューをご使用前に

- ・ ガラス面に施工できます。(ブース壁面に使用すると剥がれ辛くなります)
- ・ 施工前に事前テストを必ず行って下さい。
- ・ 既に他のコーティング材が塗ってある場合は完全に落して下さい。
特にウレタン・ラテックス塗料の上には絶対に施工しないで下さい。

■ クリヤービュー施工条件

低圧スプレーガン/重力供給カップ
ノズル径: 2.2~2.5mm
1.5mm 程度でも塗布可能だが、消費量・施工時間が多くかかります
エア一圧: 1.8~2.1kgf/cm² (0.18~0.21MPa) / 塗布面までの距離: 約 30cm
塗布気温: 約 25℃ / 塗装中は換気・保護具の着用を必ず行って下さい。

■ Particle Control



■ 電荷 (静電気) 中和剤

PC-1943 パーティクルコントロール

内容量 : 5 ガロン (18.92ℓ)

カラー : 透明

対象範囲 : 5 ガロンあたり

約 465 m² (理論値)

成分 : 水性 (別途 SDS 参照)

耐久性 : 塗装・乾燥により異なる
右頁および TDS 参照

使用期限 : ボトルに記載

第四類 引火性液体 第三石油類 水溶性液体

■ パーティクルコントロールをご使用前に

- ・ 本製品は使用量が多くなると床が滑りやすくなり転倒する危険性が高まります。
- ・ 施工前に事前テストを必ず行って下さい。

■ パーティクルコントロール施工条件

・ 市販の蓄圧式噴霧器・蓄圧式スプレー (粒状噴口) をご使用下さい。

■ パーティクルコントロールの散布回数 (参考)

- ・ 1~2台/1日・・・2~3日に1回
- ・ 3~6台/1日・・・1日に1回
- ・ 7台以上/1日・・・午前1回、午後1回

※より多く散布した方が効果は高い。高温乾燥される場合は回数を増やして下さい。



■ Curtain Guard



※ 近日発売予定

■ ビニールカーテン保護剤

CG-1238 カーテンガード

内容量 : 1 ガロン (3.78ℓ)

カラー : 半透明青色

対象範囲 : 1 ガロンあたり

約 535 m² (理論値)

成分 : 水性 (別途 SDS 参照)

耐久性 : オーバーミストが酷くなる
前に除去 (約 3 ヶ月)

使用期限 : ボトルに記載

■ カーテンガードをご使用前に

- ・ 塗装ブースビニールカーテンに施工できます。(ロールカーテンは除く)
- ・ 施工前に事前テストを必ず行って下さい。
- ・ 既に他のコーティング材が塗ってある場合は完全に落して下さい。

■ カーテンガード施工条件

低圧スプレーガン/重力供給カップ
ノズル径: 2.0~2.5mm
1.5mm 程度でも塗布可能だが、消費量・施工時間が多くかかります
エア一圧: 2.2~2.4kgf/cm² (0.22~0.24MPa) / 塗布面までの距離: 約 30cm
塗布気温: 約 25℃ / 塗装中は換気・保護具の着用を必ず行って下さい。



■ ホワイトアウト施工方法

- 1、塗布面を洗浄して下さい。(ホワイトアウト施工後は水を使用しないで下さい)
水分を除去し、ブース内を完全に乾燥させて下さい。
- 2、必要に応じてマスキングを行って下さい。ガラス部は先にマスキングを行うか、
施工後にカッターで切り込みを入れて剥がす事も可能
- 3、1度目を軽く塗り、2度目を約 100 マイクロメートル (0.1mm) 程度塗布。
※約 200 マイクロメートルの膜厚が剥がすのに適しています。
- 4、乾燥を行って下さい。(自然乾燥または 50℃以下で乾燥)
- 5、スプレーガンをなるべく早く温水で洗って下さい。
※テクニカルデータシート (TDS) を必ずよくお読みの上で施工下さい。
※一度で剥がすのでは無く、重ね塗りを行う事で材料の節約と時間短縮が可能です。
※薄塗は剥がしにくい又は剥がれなくなりますのでご注意ください。(次回上塗り可能)

■ クリヤービュー施工方法

- 1、塗布面を洗浄して下さい。
ホワイトアウト施工後は完全乾燥させた後に施工して下さい。
水分を除去し、ブース内を完全に乾燥させて下さい。
- 2、必要に応じてマスキングを行って下さい。
- 3、約 100~200 マイクロメートル (0.1~0.2mm) 程度を一度で塗布してください。
※塗り重ねると照度が落ちます。
- 4、乾燥を行って下さい。(自然乾燥または 50℃以下で乾燥)
- 5、スプレーガンをなるべく早く温水で洗って下さい。
※テクニカルデータシート (TDS) を必ずよくお読みの上で施工下さい。
※重ね塗りは照度の低下につながりますのでご注意ください。
※薄塗は剥がしにくい又は剥がれなくなりますのでご注意ください。(次回上塗り可能)

■ パーティクルコントロール施工方法 (塗装ブースコンクリート部への施工)

- 1、散布床面の掃き掃除を行います。
- 2、車両をブース内に進入させる前に、専用または市販のスプレーヤーを使用して
本製品を床面がまんべんなく湿るように散布して下さい。(原液のまま)
- 3、本製品の効果を最大限活用する為に、塗装作業・乾燥運転後にモップまたは
ほうきで必ず掃除を行って下さい。
- 4、塗装や乾燥運転の回数により推奨散布回数は変動します。(左頁参照)
- 5、上記作業を日常的に繰り返して行います。
※テクニカルデータシート (TDS) を必ずよくお読みの上で施工下さい。
※塗装ブース内の照明等の電気製品にかからないように施工下さい。
※腐食を早める結果になりますので鉄部への散布を避けて施工下さい。
※ショールーム等のタイル面への使用は本製品と水を 2 : 1 の割合で希釈して下さい。

■ カーテンガード施工方法

- 1、塗布面を洗浄して下さい。フィルムやコーティング剤は除去して下さい。
水分を除去し、ブース内を完全に乾燥させて下さい。
- 2、必要に応じてマスキングを行って下さい。
- 3、1度目をミディアムウェットコート (0.08~0.1mm) で塗布し、
必要に応じて2度目塗りすることでより完全にミストをカバーできます。
2回目は1回目のコートが完全に乾燥してから施工下さい。
- 4、乾燥を行って下さい。(自然乾燥)
- 5、スプレーガンをなるべく早く温水で洗って下さい。
※除去は散水ホース・圧力洗浄機を使用してコーティングした全ての面に噴霧し、
雑巾やブラシなどでこすり落して下さい。(排水は条例等に基づき適切に処理下さい。)
※テクニカルデータシート (TDS) を必ずよくお読みの上で施工下さい。